

特定改造自動車の諸元等の軽自動車検査ファイル への記録方法について

軽自動車検査協会

令和5年3月27日

特定改造自動車の諸元等の軽自動車検査ファイルへの記録方法について

1. 書類等の提出

特定改造自動車のエネルギー消費効率相当値の算定実施要領（平成21年国土交通省告示第933号）に基づき特定改造自動車に係る燃費値の算定を受けた自動車製作者等は、次に掲げる書類等を軽自動車検査協会（以下「軽検協」という。）に提出願います。

なお、下記（1）（2）については、格納されているデータファイルを電子メールにて軽検協へ送信することとします。また、CDによる提出も可能とします。

（1）諸元CD等登録依頼書（別紙1による。）

（2）データファイル

軽検協への電子メール送信アドレス（非公開）：densanshitu-hd@keikenkyo.or.jp

2. 処理

（1）軽検協は、前項により随時提出のあった書類等により入力データチェック処理を行い、その結果及び諸元登録希望日の対応可否を原則として書類等の提出があった日以降に自動車製作者等に連絡します。なお、自動車製作者等の諸元登録希望日に対応できない場合は、代替日を連絡します。

（2）自動車製作者等は、誤りがあった場合は、直ちに誤りを修正したデータファイル又はCDを軽検協に提出し、再度、入力データチェックを受けて下さい。

なお、入力データチェック処理結果の内容に誤りがない場合においても、軽検協まで連絡願います。

（3）軽検協は、原則として入力データに誤りがないことの連絡を業務日の午前中に受けたときは連絡を受けた日のオンライン業務終了後、それ以外の場合は連絡を受けた日の翌業務日のオンライン業務終了後に諸元マスタファイルを更新いたします。

（4）燃費値を算定した特定改造自動車についての、軽検協事務所、支所又は分室での新規検査申請書の受付については、諸元マスタファイルを更新した日の翌日から可能となります。

（5）自動車製作者等、国土交通省自動車局車両基準・国際課及び当協会における申請等の流れは別紙2のとおりとなります。

3. 排ガス適合コード

「自動車型式認証実施要領について（依命通達）」（平成10年11月12日付け自審第1252号）別添自動車型式認定実施要領附則3「自動車排気ガス規制の識別記号」による。

イ データレコード

データレコード1

レコード番号	-	更新指示	車種	△	型式指定番号	類別区分番号	定員		△	排気量		積載量		△	車両重量	長さ	幅	高さ	△~△
							定員1	定員2		種別	排気量	積載量1	積載量2						
1	4	5	6~7	10	16~19	23~24	26	32~35	40	45~48	52~54								
			8~9	11~15	20~22	25	27~31	36~39	41~44	49~51	55~128								

データレコード2

レコード番号	C	軸重				△	00	車体の形状コード	車名コード	燃料コード	排出ガス適合コード	標板コード	燃費値	変速機区分	派生区分
		前々軸重	前後軸重	後前軸重	後々軸重										
1	4	5	6~9	14~17	22	25~27	31~32	36~37	42	43					
			10~13	18~21	23~24	28~30	33~35	38~41							

最高出力	駆動方式	原動機の位置	事業用の適否	NOx規制区分	排ガス測定モード	排ガスNOx値	PM値	JCO8燃費値	派生区分2	WLTTC燃費値	△S△
44~47	48	49	50	51	52	53~57	58~62	63~67	68	69~73	74~128

データレコード3

レコード番号	C	型式/原動機型式/車台番号ヘッダー部/
1	4 5 6	128

- a 各レコードの項目説明は、②-1~4を参照してください。
- b 型式、原動機型式、車台番号ヘッダー部の間の/は必ず入力してください。
- c データレコード3の最終には、必ず/を入力してください。
- d データレコード1, 2, 3が1諸元情報であり、入力順は必ずデータレコード1, 2, 3の順で入力してください。

ウ ファイル終了レコード

ファイル終了表示	未	使	用
END	△	~	△
1	3	4	128

- a このレコードは、ファイルの最終に必ず入力してください。

②レコード項目一覧

②-1 管理レコード

項 番	項 目	バイト	属 性	内 容
1	レコード番号	4	CHAR	‘0001’を設定する。
2	スペース	1	CHAR	‘△’（スペース）を設定する。
3	ファイル名	8	CHAR	‘KSFTSF99’を設定する。
4	スペース	1	CHAR	‘△’（スペース）を設定する。
5	承認日	6	CHAR	‘YYMMDD’を設定する。 ・YY：西暦下2桁 ・MM：月 ・DD：日
6	スペース	1	CHAR	‘△’（スペース）を設定する。
7	作成者名	MAX20	CHAR	作成元で任意に設定する。 （スペースはエラーとなる。）
8	未使用		CHAR	未使用 ‘△～△’（スペース）を設定する。

※ 項番8を設定（スペース）しないで、項番7入力後に改行でも可能とする。

②-2 諸元更新データレコード1

項番	項目		バイト	属性	内容
1	レコード番号		4	CHAR	‘ファイル内の一連番号’を設定する
2	継続指示		1	CHAR	‘—’を設定する。
3	更新指示		2	CHAR	処理単位により、以下のモードを設定する ‘I N’：追加指示 ‘D E’：削除指示 ‘U P’：変更指示
4	車種		2	CHAR	‘X X’を設定する。 04：貨物 05：乗用
5	スペース		1	CHAR	‘△’（スペース）を設定する。
6	型式指定番号		5	CHAR	改造車等燃費算定番号を 90000～99999の範囲で設定する。
7	類別区分番号		4	CHAR	改造車等区分番号を 0001～9999の範囲で設定する。
8	定員	定員1	3	CHAR	乗用車は‘000’を設定する。 貨物車は普通の状態の定員数を設定する。
		定員2	2	CHAR	乗用車は‘00’を設定する。 貨物車は乗車装置を最大にした時の定員数を設定する。 (設定の範囲は、00～99であり定員が変わらない車については、00を設定する。)
9	スペース		1	CHAR	‘△’（スペース）を設定する。
10	総排気量	種別	1	CHAR	‘0’（固定）を設定する。
		排気量	5	CHAR	10cc又は10W単位で設定する。 (00000～09999)
11	積載量	積載量1	4	CHAR	普通の状態の積載量を10kg単位で設定する。 (該当なしの車は‘0000’)
		積載量2	4	CHAR	乗車装置を最大にした時の積載量を10kg単位で設定する。 (積載量が変わらない車は‘0000’)

項 番	項 目	バイト	属 性	内 容
12	スペース	1	CHAR	‘△’（スペース）を設定する。
13	車両重量（上限）	4	CHAR	10kg単位で設定する。（0000～9999）
14	長さ	4	CHAR	‘0000’（固定）を設定する。
15	幅（上限）	3	CHAR	1cm単位により000～999の範囲で設定する。
16	高さ（上限）	3	CHAR	1cm単位により000～999の範囲で設定する。
17	未使用		CHAR	未使用 ‘△～△’（スペース）を設定する。

※ 項番17を設定（スペース）しないで、項番16入力後に改行でも可能とする。

②-3 諸元更新データレコード2

項 番	項 目	バイト	属 性	内 容	
1	レコード番号	4	CHAR	‘ファイル内の一連番号’を設定する	
2	継続指示	1	CHAR	‘C’を設定する。	
3	軸重	前々軸重	4	CHAR	‘0000’（固定）を設定する。
		前後軸重	4	CHAR	‘0000’（固定）を設定する。
		後前軸重	4	CHAR	‘0000’（固定）を設定する。
		後々軸重	4	CHAR	‘0000’（固定）を設定する。
4	スペース	1	CHAR	‘△’（スペース）を設定する。	
5	未使用	2	CHAR	‘00’（固定）を設定する。	
6	車体の形状コード	3	CHAR	③コード一覧参照	
7	車名コード	3	CHAR	数字3桁で設定する。	
8	燃料コード	2	CHAR	③コード一覧参照	
9	排出ガス適合コード	3	CHAR	排出ガス識別記号を設定する。 （2桁以下のものは左詰めとし、右は△（スペース）を設定する。）	
10	標板コード	2	CHAR	‘XY’を設定する。 X 4（固定） Y { 1 : 1枚 2 : 2枚	
11	燃費値（10・15） （注1）	4	CHAR	‘XXXX’を設定する。 燃費値がある場合00.1～99.9の範囲で設定する。1, 2, 4桁目=0～9の数字 3桁目 =小数点 設定しない場合： ‘△△△△’（スペース4桁） または、‘-△△△’	
12	変速機区分 （注1）	1	CHAR	‘X’を設定する。 オートマチック及び無段変速機：A マニュアル : M その他 : △（スペース）	
13	派生区分	1	CHAR	‘X’を設定する。 乗用車派生：J その他 : △（スペース）	
14	最高出力	4	CHAR	‘0000’（固定）を設定する。	
15	駆動方式	1	CHAR	‘2’（固定）を設定する。	

項 番	項 目	バイト	属 性	内 容
16	原動機の位置	1	CHAR	‘2’（固定）を設定する。
17	事業用の適否	1	CHAR	‘1’（固定）を設定する。
18	NOx・PM規制区分 （注2）	1	CHAR	‘X’を設定する。 ‘△’（スペース）でも可
19	排ガス測定モード （注1）	1	CHAR	‘X’を設定する。 ‘1’：10・15+11 ‘3’：JC08H+JC08C 設定しない場合：△（スペース）を設定する。
20	排ガスNOx値	5	CHAR	‘XXXXX’を設定する。 ‘△△△△△’（スペース）5桁でも可
21	PM値	5	CHAR	‘XXXXX’を設定する。 ‘△△△△△’（スペース）5桁でも可
22	燃費値（JC08） （注1）	5	CHAR	JC08モード燃費値を設定する。 燃費値がある場合：00.01～99.99の範囲で設定 1、2、4桁目＝0～9の数字 3桁目＝小数点 5桁目＝0～9の数字もしくは△ ※00.1△～99.9△形式での設定も許容する。 ※上記に加え「算定済み」を表す‘00.00’ の設定も可能 設定しない場合： ‘△△△△△’（スペース5桁） または、‘-△△△△’
23	派生区分2 （注1）	1	CHAR	‘X’を設定する。 構造A（乗用車派生）：J 構造B1：V 構造B2：T 設定しない場合：△（スペース）
24	燃費値（WLTC）	5	CHAR	WLTCモード燃費値を設定する。 設定方法は「燃費値（JC08）」と同様
25	未使用		CHAR	未使用‘△～△’（スペース）を設定する。

注1 項番11、12、19、22、23は、燃費関連項目として低燃費判定に使用する。項番11もしくは項番22に有効な燃費値が設定されている場合は、燃料がガソリンのみとする。貨物自動車は、項番12については、‘A’もしくは‘M’のみを有効とする。

なお、項番11、19、22への値設定ルールは燃費算定番号の区分（10・15用かJC08用か）やJC08燃費値の算定状況により組合せが異なるため、下表（次ページ）にて補足する。

注2 附則13自動車の諸元等の自動車登録ファイル等への記録方法と同じ内容で設定する。

注3 項番25ならびに項番24を設定しないで改行も可能とする。

<補足：排ガス測定モードと燃費値の設定ルール>

燃費算定 番号区分	JC08 燃費値	設定値			
		排ガス測定モード*2	燃費値(10・15)	燃費値(JC08)	燃費値(WLTC)
10・15用	算定未了	‘1’ か ‘△’ を設定	燃費値を設定	設定しない*1	設定しない*1
	算定済み	‘3’ か ‘△’ を設定	燃費値を設定	00.00	設定しない*1
JC08用		‘3’ か ‘△’ を設定	設定しない*1	燃費値を設定	燃費値を設定 可能
WLTC用		‘△’ を設定	設定しない*1	燃費値を設定 可能	燃費値を設定

*1：実際には半角ハイフン、半角スペースを規定に沿って設定する。（表②-3参照）

*2：排ガス測定モードについて、平成28年4月1日以降は低燃費判定に使用されなくなる。そのため、従前の設定値に加え、△（スペース）の設定も可能とする。

②-4 諸元更新データレコード3フォーマット

項 番	項 目	バイト	属 性	内 容
1	レコード番号	4	CHAR	‘ファイル内の一連番号’を設定する。
2	継続指示	1	CHAR	‘C’を設定する。
3	型式	MAX15	CHAR	‘型式の具体名’を設定する。 (英数字と‘-’‘.’が設定できる。)
4	区切り1	1	CHAR	‘/’を設定する。
5	原動機型式	MAX24	CHAR	‘原動機型式の具体名’を設定する。 (英数字と‘-’‘.’が設定できる。)
6	区切り2	1	CHAR	‘/’を設定する。
7	車台番号ヘッダ一部	MAX18	CHAR	‘*’を設定する。
8	終了表示	1	CHAR	‘/’を設定する。
9	未使用		CHAR	未使用 ‘△～△’（スペース）を設定する。

※ 項番9を設定（スペース）しないで、項番8入力後に改行でも可能とする。

②-5 ファイル終了レコード

項 番	項 目	バイト	属 性	内 容
1	ファイル終了表示	3	CHAR	‘END’を設定する。
2	未使用	125	CHAR	未使用 ‘△～△’（スペース）を設定する。

※ 項番2を設定（スペース）しないで、項番1入力後に改行でも可能とする。

③コード一覧

ア 車体の形状コード

区分	車体の形状	コード
乗用自動車	箱型	001
	幌型	002
	ステーションワゴン	003
貨物自動車	ボンネット	011
	キャブオーバ	012
	バン	021
	ダンプ	022
	ピックアップ	023

イ 燃料コード

燃料の種類	コード
メタノール	01
ガソリン	02
軽油	03
L P G	04
灯油	05
電気	06
ガソリン・L P G	07
ガソリン・灯油	08
C N G	09
その他	10
L N G	11
A N G	12
圧縮水素	13
ガソリン・電気	17
L P G・電気	18
軽油・電気	19
なし	99

諸元CD等登録依頼書

軽自動車検査協会 あて

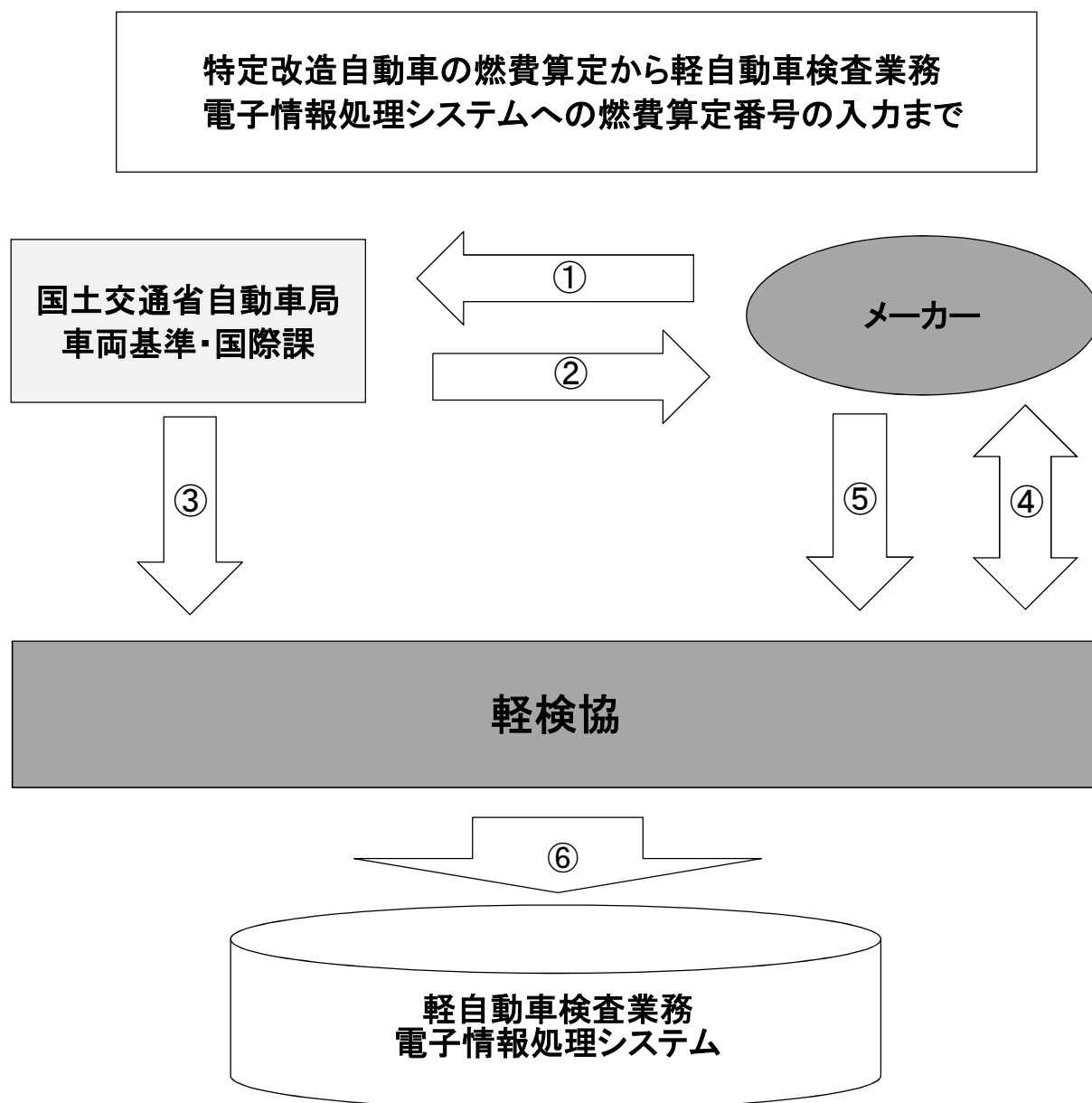
会社名

依頼年月日	年 月 日	担当部署名 及び担当者名	
担当部署連絡先電話番号		入力データ数	件
CD枚数 (電子メールでの提出の際 は記入不要)	枚	諸元登録希望年月日	年 月 日
改造車等燃費算定番号 改造車等燃費区分番号 決 裁 日			

1. CD等受領者名		2-1. チェック処理日	年 月 日	2-2. 担当者名	
3-1. リスト交付日	年 月 日	3-2. リスト交付者名		/	
3-3. チェック結果	更新可 更新不可	3-4. 連絡者名		3-5. 対応者名	
4-1. マスタ情報更新月日		年 月 日	4-2. 担当者名		
5-1. CD返却日 (電子メールでの提出の際は記入不要)		年 月 日	5-2. 受領者名 (電子メールで の提出の際は記入不要)		
6. 備考					

(注) 太線の枠内のみを記入すること。

(日本産業規格A列4番)



- ①メーカーより国土交通省自動車局車両基準・国際課へ特定改造自動車のエネルギー消費効率相当値の申請
- ②車両基準・国際課からメーカーへ特定改造自動車の算定番号の通知
- ③車両基準・国際課から軽検協へメーカーに通知した算定番号の送付
- ④メーカーから軽検協へデータファイルフォーマットチェックの依頼をメール又はCDで行い、軽検協においてフォーマットチェックを行いメーカーへエラーの有無を通知
- ⑤メーカーから軽検協へ通知を受けた算定番号及び諸元をデータファイルにて登録を申請
- ⑥メーカーから依頼のあったデータファイルを軽自動車検査業務電子情報処理システムの諸元マスタに登録